

飼育日誌

(06.10.2～)

- 10月2日 ☘/☘ ノドジロオマキザル「'06生まれ」尾が半分切断していた。傷口を母親がしきりになめている。
- 10月4日 ☘ ライオン♂「ミミ」後肢が若干ふらついているが、採食良好で元気になってきた。
- 10月8日 ☘/☘ アシカ、偏食が激しく一時中断していた「アシカのエサやり体験」本日より再開。
- 10月10日 ☘ アフリカゾウ♀「花子」鼻先が約10cm欠損していた。化膿防止のため患部を消毒し、抗生剤を餌に混ぜて様子を観察。
- 10月12日 ☘ ハワイガン♀衰弱死。
- 10月14日 ☘ カピバラ♀「ハタ」展示場で倒れていた。保温し治療を行う。
インコ、カンガルー、エミュー寒さ対策のため保温ランプを点灯。
- 10月15日 ☘ カピバラ♀「ハタ」急性血循環不全のため死亡。
チンパンジー♀「ジェーン」と♂「ボンタ」との間に赤ちゃん誕生。
- 10月16日 ☘ ライオン♂「ミミ」兄妹と同居。お互い威嚇行動が見られたが、午後には仲良く3頭一緒にじゃれ合っていた。
- 10月19日 ☘ ラクダ♀「田田」右前肢の爪がはがれる。
- 10月20日 ☘ インドホシガメ♀膀胱結石のため死亡。
- 10月23日 ☘/☘ カンガルー「赤ちゃん」一瞬だけお母さんのお腹の袋から顔を出していた。
ノドジロオマキザル「仔」尾を切断され(3回目)元気がなかったため入院治療。
- 10月24日 ☘ 昨日入院したノドジロオマキザル「仔」死亡を確認。
シュバシコウ「'06生まれ」野生動物による食害で死亡。
- 10月26日 ☘/☘ シュバシコウ♂「右赤・左白」野生動物による食害で死亡。
- 10月27日 ☘ チンパンジー♀「ジェーンの赤ちゃん」衰弱亡。
アフリカゾウ♀「花子」が消毒用のイソジンを嫌うようになってきた。
- 10月29日 ☘ オオカミ♀「ハチ」左前肢に怪我、麻酔をかけ傷口の縫合を行う。
- 11月6日 ☘/☘ レッサーパンダ♂「風」今朝、寝室内で死亡しているのを発見。
- 11月9日 ☘ イヌワシ展示個体、体重測定実施。('06生まれのヒナ性別鑑定のため採血実施：検査結果♀1、♂2)
- 11月10日 ☘ チンパンジー♂「J太郎」同居中に♂「ユミノスケ」から攻撃を受け右腕を負傷する。麻酔下による治療。
- 11月19日 ☘ ソウ交尾確認。
- 11月21日 ☘/☘ コウノトリ体重測定および採血。♂5.5kg、♀4.10kg
- 11月22日 ☘/☘ ツキノワグマ♂「稔」動きが鈍くなってきた。
- 11月23日 ☘ ヨーロッパフラミンゴ多摩動物公園より10羽搬入。
- 11月26日 ☘ アフリカタテガミヤマアライシ繁殖、その後食害のため死亡。
さよなら感謝祭開催。
- 11月30日 ☘ マーコール削蹄実施。
- 12月1日 ☘ F.ケージの鳥類、越冬舎へ移動。
- 12月3日 ☘ チンパンジー♂「J太郎」体重測定6.64kg
- 12月4日 ☘ ツキノワグマ♂「稔」冬ごもり準備のため、本日より給餌量を減らす。
- 12月5日 ☘ トキ舎、冬囲い作業。
- 12月10日 ☘/☘ サル山、入れ墨作業準備のため絶食開始。
チンパンジー♂「J太郎」腕の包帯を外し消毒を中止する。
- 12月11日 ☘ ツキノワグマ♂「稔」冬ごもりに入ったようだが、人の気配で反応がみられる。
- 12月12日 ☘ ニホンザル'05'06生まれの15頭対象に入れ墨作業実施。
- 12月14日 ☘ ツキノワグマ、冬ごもりの様子をモニターするため♂「稔」の部屋にカメラ設置作業。
ペンギン1卵目のヒナ孵化確認。
コモンマーモセット2頭出産。
- 12月15日 ☘ ペンギン2卵目のヒナ孵化確認。
カンガルー「赤ちゃん」初めて完全に袋の外に出たのを確認する。
- 12月16日 ☘ クロヅル、マナヅル越冬のため移動。
- 12月19日 ☘ ハクビシン♀「老」乳腺癌のため死亡。
- 12月20日 ☘ ミニブタ♂「トン平」、「トン吉」2頭搬入。

2006 飼育動物数

(平成18年11月末現在)

哺乳類	61種類	339点
鳥類	60種類	253点
爬虫類	14種類	36点
両生類	2種類	5点
魚類	4種類	24点
合計	141種類	657点

編集後記

11月末で通常の開園期間が終わり、12月は閉園期間でしたが、動物園職員は遊んでいた訳ではありません。展示場の冬囲い作業や寒さに弱い動物を越冬舎に移すなど冬の準備に追われていました。そんなこんなで本格的な冬の到来です。寒さの苦手な私にとっては辛い季節です…でも厳しい寒さの中だからこそ見られる動物たちの姿があります。冬期間園もみなさまのお越しをお待ちしています！

安永 千秋

